

「五所川原市第3期子ども・子育て支援事業計画」(案)についての意見募集結果について

市が実施しました「五所川原市第3期子ども・子育て支援事業計画」(案)の策定にあたっての意見募集に対し、貴重なご意見をいただき、誠に、ありがとうございました。

いただいた意見の概要とそれに対する市の考え方は下記のとおりです。

記

1 意見募集期間

令和7年2月7日から令和7年3月10日まで

2 募集方法

市のホームページ (<http://www.city.goshogawara.lg.jp/>) に案の概要等を掲載したほか、市子育て支援課、行政資料スペースに備え付けました。

意見提出は、郵送、電子メール、FAXのいずれかの方法によることとし、提出言語は日本語としました。

意見提出にあたっては、提出者の氏名・住所(法人等の場合は、その名称・事務所所在地等の連絡先)の明記を条件としました。

3 提出された意見

3人の方から延べ8件の意見をいただきました。その反映状況は次のとおりです。

文章修正等	記述済み	実施段階検討	反映困難	その他	合計
0件	0件	0件	0件	8件	8件

「文章修正等」・・・本文の修正、記述の追加等意見を反映させるもの。

「記述済み」・・・既に記述済みのもの。

「実施段階検討」・・・計画の実施段階で検討又は対応すべきもの。

「反映困難」・・・反映が困難なもの。

「その他」・・・質問や感想。施策の体系外への意見。

意見の内容とそれに対する市の考え方及び意見を考慮した結果決定した案は、次のとおりです。

(提出された意見の内容とそれに対する市の考え方)

提出された意見	市の考え方
<p>今回、五所川原市から提出された令和7年度からの以後5年間を計画期間とする「第3期子ども・子育て支援事業計画」(案)の策定に関して、以下のように、問題点の指摘と改善策を提案させていただきましたので、ご検討ください。</p> <p>1. 少子化・人口減少対策の具体的改善策</p> <p>①定住促進策の強化</p> <p>若年層向け住宅取得支援の拡充</p> <p>移住者向けの家賃補助・リフォーム補助</p>	<p>【その他】</p> <p>貴重なご意見ありがとうございます。いただいたご意見については、今後の子ども・子育て支援施策の参考とさせていただきます。</p> <p>子育て環境の向上・改善は、ひとつの部署だけで完結できるものではなく、各部署の連携・協働はもとより、市民の皆さまも含めた地域全体で取り組んでいくことにより、安心、安全な子育て環境につながっていくと考えておりますので、当市としましては第3期子ども・子育て支援事業計画に基づき施策・事業を展開し、子育て支援施策の更なる充実に努め、安心して子育てができるまちづくりを進めてまいります。</p>

<p>地域おこし協力隊・定住支援員の増員</p> <p>②雇用創出と若者向け産業育成 企業誘致＋企業支援の強化 IT・リモートワーク支援のためのコ ワーキングスペース整備 地元農業・観光・福祉と連携した若者 向け修業プログラム</p> <p>③結婚・出産支援の拡充 不妊治療支援の拡充 第一子誕生時の「出産応援金」制度の 導入</p> <p>2. 子育て支援の情報周知不足</p> <p>①デジタルツールの活用による情報発信 の強化</p> <p>②「子育てナビポータルサイト」の開設</p> <p>③窓口のワンストップ化</p> <p>3. 放課後児童クラブ・学童保育の不足</p> <p>①小学校の空き教室を活用した学童保育 の拡充 小学校の空き教室を活用し、学童保育 の受け入れ枠を拡大 既存の学童施設の利用時間を延長</p> <p>②高学年向け学習支援制度の創設 学習支援型の放課後プログラムを導入 地域の大学生・シニアボランティアを 活用 ITを活用したオンライン学習支援</p> <p>③スポーツ・文化活動の地域クラブ化 地域スポーツクラブと提携し、放課後 の受け皿を拡大 文化・芸術活動を学童プログラムに組 み込む</p> <p>④企業・地域団体との連携による受け皿 の確保 企業主導型学童保育の導入 商店街・地域団体との強力による「ま ちぐるみ学童」</p>	<p>なお、ご指摘いただいたご意見・改善策のなかで、既 に実施しているものがございますので、参考までに下記 に記載します。</p> <p>1. 少子化・人口減少対策の具体的改善策</p> <p>③結婚・出産支援の拡充 第一子誕生時の「出産応援金」制度の導入⇒「出産・ 子育て応援給付金」として、妊娠届出時と出生届出後 にそれぞれ5万円を支給しております。令和7年度か らは「妊婦のための支援給付」となり、子育て世帯へ の経済的支援を継続します。</p> <p>2. 子育て支援の情報周知不足</p> <p>①デジタルツールの活用による情報発信の強化⇒五所 川原市公式LINEアカウント「ごしょLINE」 により、子育て支援情報を周知しております。</p> <p>②「子育てナビポータルサイト」の開設⇒五所川原市 ホームページへ「子育て応援サイト」を開設してお り、子育て支援情報やイベント情報など、各種情報 を集約しております。</p> <p>③窓口のワンストップ化⇒子育て支援課では妊娠・出 生から乳幼児健診などの母子保健と、保育所等や放 課後児童クラブなどの保育に加え、児童手当・児童 扶養手当、子ども医療による経済的支援、子どもの 貧困対策や児童虐待などの児童福祉といった子育て に関する業務を集約しており、窓口のワンストップ 化を図っております。</p> <p>3. 放課後児童クラブ・学童保育の不足</p> <p>①小学校の空き教室を活用した学童保育の拡充⇒当市 で実施している放課後児童クラブは、小学校の空き 教室に加え、認定こども園等への業務委託により、 利用を希望するすべての児童を受け入れており、待 機児童はおりません。 既存の学童施設の利用時間を延長⇒令和6年度より 全ての放課後児童クラブで早朝保育及び延長保育を 実施しております。</p> <p>③スポーツ・文化活動の地域クラブ化⇒当市では小学 校の部活動は行っておらず、地域クラブにて活動し</p>
---	---

<p>4. 子どもの貧困対策の実行性を高める具体的な改善策</p> <p>①学習支援の強化：低所得世帯の子ども向け塾代補助&無料学習支援 「五所川原市塾代補助制度」の創設 「地域型無料学習支援」の設置 「ICT活用」の学習支援</p> <p>②奨学金・給付金制度の拡充 「五所川原市未来奨学金（給付型奨学金）」の創設 「高校生の入学金・教材費補助」</p> <p>③子ども食堂の運営支援強化 「地域密着型子ども食堂ネットワーク」の構築 「子ども食堂」＋「学習支援」のハイブリッド型施設 「子どもフードバンク」の設立</p> <p>④生活支援の充実 学用品・衣類の無料提供プログラム 子どもの医療費完全無料化</p>	<p>ております。また、中学校も令和7年度から部活動の地域移行を進めていくこととしております。</p> <p>4. 子どもの貧困対策の実行性を高める具体的な改善策</p> <p>③「子どもフードバンク」の設立⇒五所川原市社会福祉協議会で「フードバンク」を運営しております。また、子育て家庭へ定期的に食品等を届けることでつながり、必要な支援へ結びつける「子ども宅食おすそ分け便」も実施しております。</p> <p>④生活支援の充実 子どもの医療費完全無料化⇒市では18歳までの医療費（保険適用分）を無償化しております。</p> <p>また、このほかにも子育て環境の充実へ取り組んでおりますので、詳しくは市ホームページの「子育て応援サイト」をご覧ください。</p>
<p>今後、期待する事として以下の3点を記載させていただきます。</p> <p>①青森県ひとり親家庭住宅支援資金貸付事業 貸付条件である、「母子・父子自立支援プログラム策定事業」が、五所川原市では実施されていないとの事で、貸付不可でした。できれば五所川原に住み、仕事もして行きたいと考えている為、貸付があると、地元にも住みやすいし、住んでいたいと感じると思います。</p> <p>②子供が歯の矯正で、定期的に歯医者に通院しています。矯正は保険が効かないため、矯正開始時に、約30万円、受診の度に、5,500円払わなければならないととても経済的に苦しいです。 小学生から、中学卒業くらいまでの長い</p>	<p>【その他】 貴重なご意見ありがとうございます。いただいたご意見については、今後の子ども・子育て支援施策の参考とさせていただきます。</p> <p>また、第3期子ども・子育て支援事業計画に基づく施策・事業の展開により、更なる子育て支援の充実に努めるとともに、社会の宝である子どもを「地域全体で育てる」という思いのもと、将来にわたって住み続けたいと思えるような魅力的なまちづくりを進めてまいります。</p>

<p>期間の通院、その分治療費がかかります。通院している矯正対応の歯医者さんに行くと、小学生～中学生くらいの子供さん達が沢山来院されています。五所川原にも、矯正治療をされている子供さん達が一定数いらっしゃると思います。歯の噛み合わせ、口腔内の治療をする事は将来の健康の為に、大事な事だと思います。</p> <p>全く保険が効かないのではなく、私の今の経済状況から考えると、やはり患者側が3割負担程度になってもらおうと、通院にも前向きになれそうです。</p> <p>③特に冬期間は雪の影響で、運動する機会や、遊びに行く場所が限られます。子供が体をもて余しています。</p> <p>金木町にも、つがる市の新しい体育館のように、安い料金でランニングや運動ができる施設があったり。子供に聞いたところ、芦野公園が冬期間も使えるといいなあと言っていました。冬でも、思いっきり走ったり、気軽に散歩できる場所があるといいですよ。</p> <p>冬期間の芦野公園は、雪に埋もれお店も全て閉まっています、なんだか寂しいです。</p>	
<p>「放課後子ども教室」の推進・実施をお願いします。</p> <p>部活動が無くなるのと「放課後子ども教室」の実施は同時に行われるべきでした。</p> <p>学校の授業が終わった後に、保護者の送迎などが不要なく、そのまま校内でスポーツ(運動や文化的な活動)ができる環境が欲しいという声はたくさんあります。(ニーズ調査でも多数このような要望がありました)</p> <p>第3期子ども・子育て支援事業計画(案)P49には「放課後児童クラブのニーズが年々増加していること等により」とありますが、これは、共働きの家庭で、子供たち</p>	<p>【その他】</p> <p>貴重なご意見ありがとうございます。いただいたご意見については、今後の子ども・子育て支援施策の参考とさせていただきます。</p> <p>また、関連する部署と共有のうえ、第3期子ども・子育て支援事業計画に基づく施策・事業の展開により、放課後児童対策をより一層推進し、更なる子育て支援の充実に努めてまいります。</p>

が放課後に安全に過ごす場所を求めていることだと思います。部活動があったら、部活に行きたい子供たちはたくさんいると思います。

なら、スポーツクラブに行けばよいだろうと安易に考えがちですが、共働きの多い時代ですので、なかなか子供のスポーツクラブの送迎が大変だという声が上がっています。

第3期子ども・子育て支援事業計画（案）P60には「自己肯定感の低さが課題」とありますが、それはなぜでしょうか？

部活で学べることはたくさんあります。

部活動がなくなったことで、コミュニケーション不能・ゲーム・スマホ依存・不登校の原因になっていると思います。コミュニケーション不能・ゲーム・スマホ依存・不登校これら全て自己肯定感の低さにつながります。

部活動などが無く、授業以外での他人とのかかわりが薄い子供たちが、帰宅してゲームやスマホに依存した状態で、思考力・判断力・表現力が十分に伸び、健康で基本的な生活習慣が身に付くとは思えません。

1行目に「放課後子ども教室」の推進・実施をお願いします。と書きましたが、ぜひ、今からでも実施をお願いします。

放課後子ども教室という言葉・定義にこだわらなくても良いと思います。『学校の授業が終わった後に、保護者の送迎などが不要なく、そのまま校内でスポーツ(運動や文化的な活動)ができる環境』を、多くの子供たち、親御さんたちは求めています。

どうぞよろしく願いいたします。